

社会的事象を考え、表現する力を高める指導の工夫

—課題に目を向け、その解決策を考える「未来へのアドバイス」を取り入れて—

長期研修員 高畑 辰弘

主題設定の理由

学習指導要領 (小学校社会科)

「よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うこと」

平成24年度 群馬県 学校教育の指針

「問いの解決に向けて (中略) 調べたことや考えたことを表現する活動」の充実



児童の実態から見える課題



どうすればわかるの？

生活や社会の課題を見いだす

どんなふうに考えればいいの？

課題の解決策を考える

考えたことを表現するなんて、したことないなあ・・・

解決策を表現する

そこで



社会的事象を考え表現する力を高めるために、社会的事象のもつ課題を見いだし解決法を考え、解決策を表現する学習が必要です。現状をよくするための目標に目を向け、現状や人々の願い、工夫、努力を探り、よりよい未来になるような提言を発信する学習を進めます。

それが

研究の構想

「未来へのアドバイス」の作成に向けた学習

アドバイスガイド

学習の進め方

調査の仕方

よりよくする方法の見付け方

表現の仕方

評価の仕方

「未来へのアドバイス」とは、現状のどこをよりよくすればよいかを考えた提言。大人になったころの世の中がよくなるよう、社長または、施設の責任者の立場で作成・発信します。

つかむ

- ① 事前調査から人々の思いや願いを探る
- ② より多くの人々の思いや願いを基に、課題をつかむ

追究する

- ③ 必要な情報を入手し、調査する
- ④ 現状をよりよくする方法を考える

まとめる

- ⑤ 現状をよりよくする方法を基に、アドバイスしたい内容を考える
- ⑥ アドバイスしたい内容を修正し、練り上げる
- ⑦ 「未来へのアドバイス」を作成・発信する

事象の課題を見いだす力の育成

情報を活用し考える力の高まり

事象を考え、表現する力の高まり

社会的事象を考え、表現する力を高めた児童

①事前調査の結果を知り、消費者の願いを考える

保護者へのインタビュー
車を買った理由は何ですか？

保護者の答え



保護者の回答:

- 衝突安全 ボディーだから
- 自動ブレーキ システムだから
- 高齢者が乗り降りしやすいから
- 車イスごと乗れるから
- クリーンエネルギーだから
- 燃費がいいから



消費者は、どんな自動車を求めているのだろうか。保護者の答えから考えよう。

安全な車

人に優しい車

環境に優しい車

②課題を見だし、学習の見通しを確認する

どんな自動車をつくれれば消費者は満足するのだろうか。



安全で、人や環境に優しい車をつくること = 「自動車工業の課題」

参考例

農場長さんの「わたしならこうする」
未来の農業へのアドバイス



日本の農業の課題は、外国からの農産物との競争や日本人がお米のご飯をあまり食べなくなったこと、それから、農業をやる人がお年よりばかりになっていることです。
わたしは、お米づくりに力を入れたいと思います。わたしは、品種改良をして、おいしく、米費があって健康によく、病気にも強い米をつくりたいです。もっと機械化をして値段を下げ、外国へも積極的に売り出します。

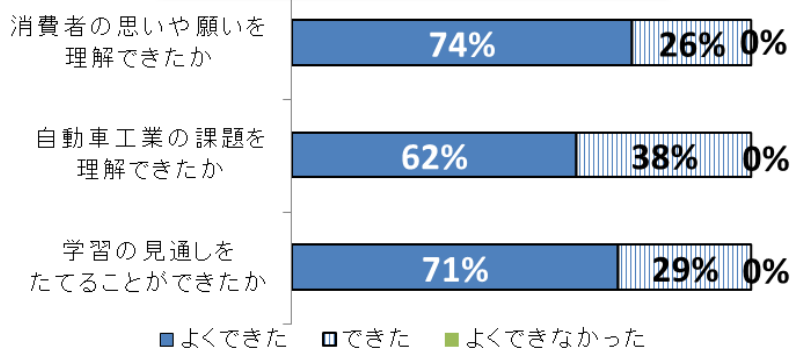
レベル表

レベル	とくちょう
5 すばらしい	・学習した中で、3つ以上の内容から「未来へのアドバイス」をつくっている。 ・「もし、～がなかったら・・・」とか「これを～のように利用すれば・・・」などのように、自分の考えを相手に伝える工夫が見られる。 ・絵を見るとアドバイスの内容がさらによく分かる。
4 よい	・学習した中で、2つの内容からつくっている。 ・「もし、～がなかったら・・・」とか「これを～のように利用すれば・・・」などのように、自分の考えを相手に伝える工夫が見られる。 ・絵がアドバイスの内容に合わせて、分かりやすい。
3 合格	・学習した中で、2つの内容からつくっている。 ・アドバイスしたいことが書けている。 ・絵がアドバイスの内容に合わせている。
2 もう一歩	・学習したことをもとに、1つの内容からつくっている。 ・アドバイスや絵ができてはいるが、分かりやすさはもう一歩である。
1 かなりの がんばりが必要	・アドバイスが未完成。絵をかくことができない。

自動車メーカーの社長さんになって、学習の最後に「未来へのアドバイス」を発信するよ！参考例を見て、レベル5のアドバイスを考えることができるよう、自動車工業について調べていこうね！



児童による自己評価の結果



全ての児童が自動車工業の課題を理解し、学習の見通しをもつことができました。



③情報を入手し、現状をつかむ

調査方法を確認し、資料を読み取ろう。



抽出児童が、つかった現状

開発面では・・・

安全面・福祉面・環境面に配慮した自動車を研究し、開発している

自動車工業の現状①

生産面では・・・

産業用ロボットを使って、効率よく安全に生産し、少しでも安い値段で販売できるようにしている

自動車工業の現状②

販売面では・・・

国内だけでなく、外国でも販売されている。外国のメーカーとも、協力し合っている

自動車工業の現状③

④未来をよりよくする方法を考える

つかった現状を基にして考えよう。自動車工業に携わる人々は何を願って、どんな努力や工夫をしているのかな？



抽出児童が考えた、よりよくする方法

どんな障害にも対応する部品をつくる

よりよくする方法①

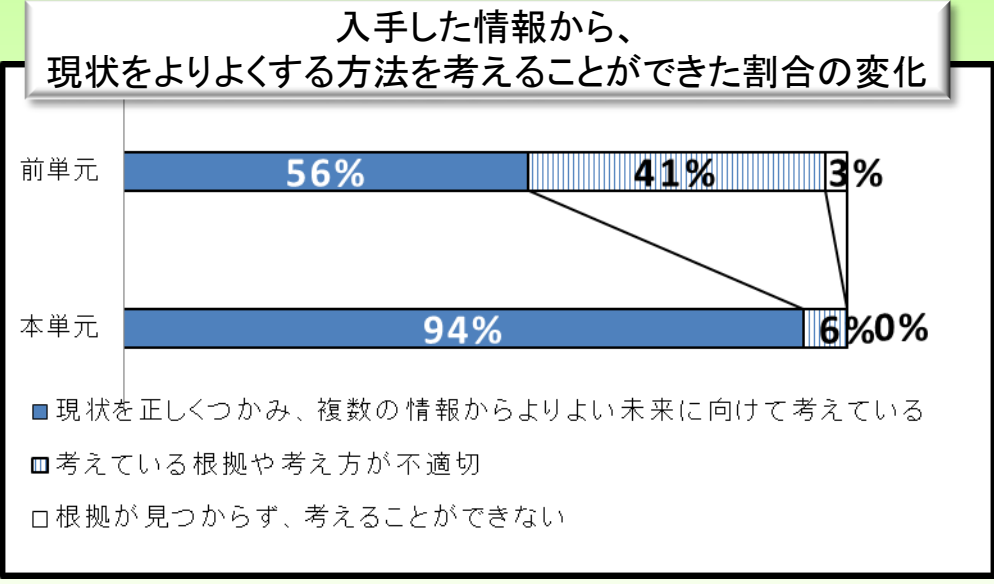
1台のロボットで自動車をつくれるようにする

よりよくする方法②

キャリアカーにのせた車をそのまま船に積み、運ちんを安くする

よりよくする方法③

よりよくする方法を基にして、「未来へのアドバイス」を考えていこう。



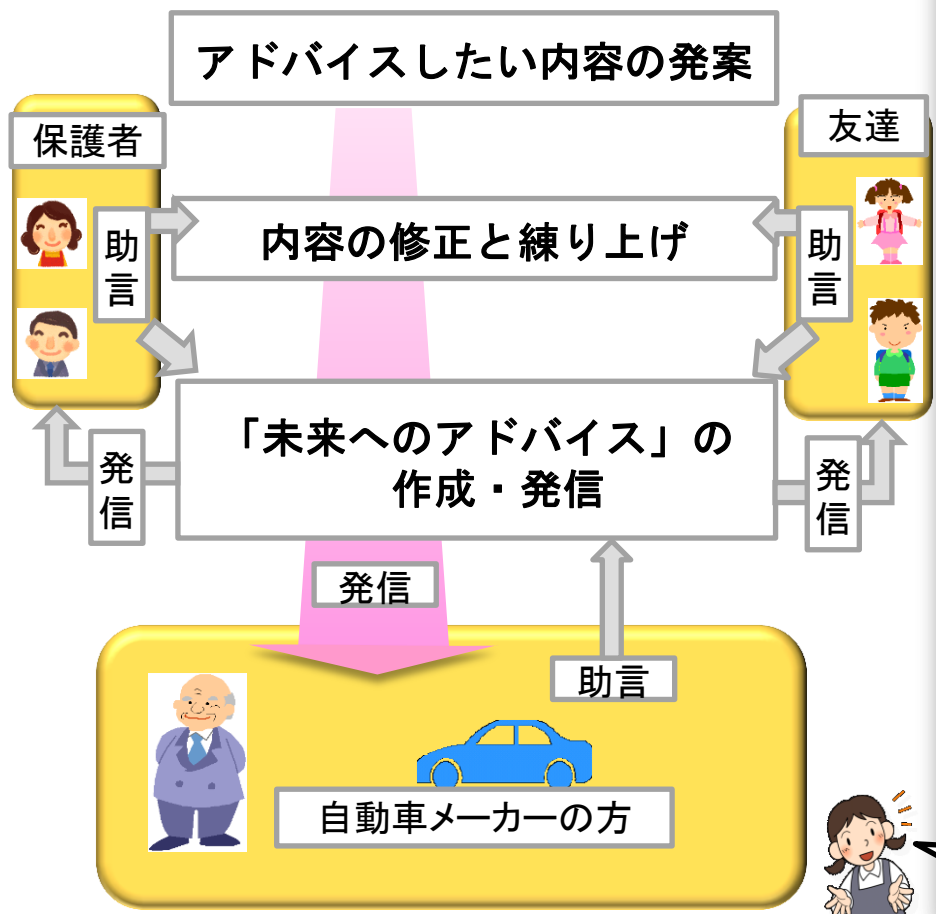
94%の児童が現状を正しくつかみ、複数の情報からよりよい未来に向けて考えることができました。



まとめ

⑤⑥⑦アドバイスしたい内容を考え、修正し練り上げ、「未来へのアドバイス」を作成・発信する

よりよくする方法①②③を基に、自動車メーカーの社長の立場で、大人になった頃の未来がよりよくなるようなアドバイスを考えよう。



抽出児童の「未来へのアドバイス」

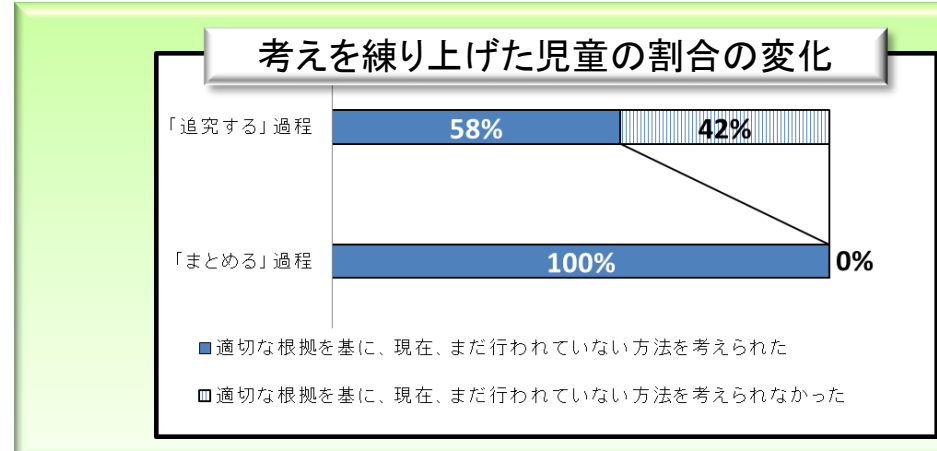
未来への自動車づくりのアドバイス

作った部品 + 普通の車 = 外車も対応出来る

費用が安くすむ。 外車も対応出来る。

日本の自動車工業をもっと良くするには、ねたんを安く、世界にわたり、たれでも乗れる車になると良いと思いました。そこで、わたしは、福祉の面に力を入れて、3つの課題を成功させたいと思います。まず、それぞれの障害にあった部品を作ります。その部品は、普通の車にとりつけると、その障害対応の車になります。そうすると部品だけ作ればよくなり、費用を安くすることが出来ます。それだけでなく、世界の車にも通用する部品を作ることで、日本以外の国でも、売ることが出来ます。

福祉面に力を入れて、書きました。



全ての児童が、適切な根拠を基にまだ行われていない方法を考え、表現できました。

研究のまとめ

- 成果
- 単元の導入で最終目標となる参考例を示し、その後も目的や相手、方法を意識し続けることができるようにしたことで、単元を通して児童は意欲的に取り組み、前向きなアドバイスを豊富に考えることができました。
 - 現状をつかみ、人々は何を願って、どんな努力や工夫をしているのかを探り、立場や状況を意識しながら課題の解決策を考えたことで、単に表面的な知識としてではなく、現状を成り立たせた要因や背景を認識することができました。
 - 評価を意識し、助言を基に修正し練り上げたことで、単なる感想やまとめではない、持続可能な社会につながるアドバイスを考えることができました。

- 課題
- 単元に応じて、「未来へのアドバイス」を考える責任者の立場を具体的に示していく必要があります。
 - レベル表をより具体的にすることで、的確に評価することができるようにする必要があります。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター 担当係 義務教育研究係 0270-26-9213 (直通)